

❁興東館柳生中学校区

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども
 ・自ら考え、意欲的に取り組む子ども
 ・互いに支えあい思いやりと強い心と体を持つ子ども

▶興東館柳生中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	本校区は広大な校区で、少子高齢化の煽りを受ける校区であり、地域教育力の向上のためにもより一層の地域間の連携とコミュニティーの形成が必要な校区である。また、様々な体験や経験を通して、郷土を愛し自分たちの考えや取組を発信できる子どもたちに育てていくためにも、小中学校園との協働を通じて、地域ぐるみで子どもたちを育てていく必要がある。
伸ばしたい子どもの具体的な力	興東館柳生中学校区は、豊かな自然と長い歴史に支えられた伝統的な文化が息づく校区である。そのような校区で育つ子ども達に様々な体験活動を通して、校区に対する夢と誇りを持ち、自分自身の将来に向かって自己を見つめ行動する力の育成
取組内容	① 興東館柳生中学校区の自然に触れ体験学習を通して豊かな心を育てる。 ② 興東館柳生中学校区の歴史を学び、郷土を愛する心を育てる。 ③ 興東館柳生中学校区の方々と触れ合い、伝統や文化を学ぶとともに豊かな心を育てる。 ④ 興東館柳生中学校区の特徴を知り、校区に対する夢と誇りを育てる。



▶興東館柳生中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	来年度の生徒数は今年度より3人増加し52人なるが、その後は減少する一方であり、この状況は今後も継続すると見込まれている。その様ななかで、地域教育力の向上を図るためにも、より一層の地域間の連携とコミュニティーの形成は必要不可欠である。また、郷土を愛し自分たちの考えや取組を発信できる視野の広い子どもたちに育てていくためにも、様々な体験や経験を通して、地域と学校の協働を通じて、地域ぐるみで子どもたちを育てていく必要がある。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・仲間を認め支え合い、何事にも真剣に取り組み、自ら学び考え行動する力。 ・自分と郷土に誇りを持ち、夢を持って生きていく力。
取組内容	・地域資産や外部人材を活用し、地域の自然や伝統文化などの本物に触れる体験を通し、持続可能な社会活動について考えさせる。 ・少人数で生活している生徒たちが卒業した時、自信をもって自分の地域や中学校に誇りを持って語れることができるように、地域人材を活かした多彩で意義のある体験学習を経験させる。 ・学年を超えた全校体制で共働し、体験学習に取り組み、自主性や発表力を養う。



▶柳生小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興東館柳生中学校区となり、4年目となった。また、昨年度は統合50周年を迎える記念すべき年となり地域の方々とともにお祝いできた。 ・全校児童数が48名という小規模な学校であるが、長い歴史と伝統を誇る柳生地区にある小学校として地域や保護者の期待に応える取組を進めている。 ・「どの子ども地域の宝、宝を磨く」を合言葉に、将来の柳生を支える人材を育てられるような特色ある教育活動を行っている。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>柳生地域の良さを知り、体験を通して自分の意見をもつ力。また、柳生の歴史や伝統を誇りに思い、その良さを周りに自信をもって伝えようとする力。</p>
<p>取組内容</p>	<p>①地域のゲストティーチャーを活用し、いろいろな体験活動を通して柳生の良さや特色を知り、柳生を愛する心を育てる。 ②学校で花や緑を育てる体験や校内環境整備等を通して豊かな心を育む。</p>



▶興東小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校校区は、水と緑豊かな自然環境の中、地元の児童の教育や学校にかける思いは大きい。また、学校への協力を惜しまない人的環境に恵まれた地域でもある。このような豊かな教育環境を最大限に活かし、様々な人とのふれあいや多様な体験を重視した学習の実践を展開させる。児童は自分自身にそして地域に誇りを持ち、視野を大きく広げ、多くの人やものから学ぶこと、そして仲間とともに高め合い、様々な場面でその成果を発揮できる力をつけてきた。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に行動し、自分の意見を持ち、伝えたいことを周りに伝える子どもを育成し、思いやりのある心をもって相手の考えにも耳を傾けることができる力を育む。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の一環として、総合「なら」科や生活科の学習の中で、地域の人材を積極的に活用し、地域の歴史や自然、文化、産業、さらに人々のくらしや願い、知恵を、多くの体験を通して、地域の方々から学ばせる。



▶柳生こども園 運営委員会	
学校園・子どもの現状	<p>過疎化、少子高齢化が進み、園児は広範囲から車で通園している。三世代同居の家族も多く、情緒豊かに育てられている様子が伺える。家庭に帰れば、園児も保護者も友達とのかかわりが少ないため、こども園は地域の教育センター的役割を担っている。保護者や地域の方の幼児教育への関心は高く、地域の教育力を保育に活かす取り組みや交流会、園での様々な活動に対して協力的である。今年度は布目こども園が休園となり転園児4名4世帯が加わり、異年齢間、同年齢間での活動を喜び楽しむ様子に地域の方や保護者の方からも前向きな感想をいただいている。1こども園になり、地域とのつながりをより大事に捉えていきたい。</p>
伸ばしたい子どもの具体的な力	<p>身近な環境に主体的に関わり、意欲や関心をもって考えたり、判断したりしながら友達と粘り強く取り組む力。 地域の伝統にふれ親しみ、園内外の行事に楽しんで参加し、さまざまな人と関わりを深める。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然や地域の人とのかかわりを通して、心身の成長を育む。 ・地域の伝統文化や地場産業に触れ親しむ機会をもつ。 ・園内外の行事に積極的に参加して多くの方々と交流を持ち、触れ親しむ経験を重ねていく。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

※布目こども園は平成30年度休園しています。